

日 教 庶 第 4 1 号  
令和8年(2026年)4月7日

教育委員 各位

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士  
(公印省略)

**令和8年度第1回教育委員会定例会の開催について**

日野市教育委員会告示第2号により、下記のとおり令和8年度第1回教育委員会定例会を開催します。定刻までに御参集ください。

**開催日時**

令和8年(2026年)4月10日(金) 午後2時

**開催場所**

教育委員会室(506会議室)

**案件**

**議案**

- 第1号 令和8年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について
- 第2号 日野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について
- 第3号 教育財産の用途廃止及び用途変更について
- 第4号 日野市教育委員会いじめ問題対策委員会専門調査員の委嘱について
- 第5号 学校運営協議会委員の任命及び解任等の専決処分について
- 第6号 第12期日野市立教育センター運営審議会委員の委嘱の専決処分について
- 第7号 第32期日野市立図書館協議会委員の任命について
- 第8号 教育委員会職員人事について

## 請願

- 第8-1号 「防災・災害派遣」を隠れ蓑に生徒に「軍事力は必要」と教え込む都教委流”自衛隊連携防災講話”は実施せず、また”子ども版防衛白書“は有害図書だと、本市の教職員に周知頂くよう求める等の請願

## 報告事項

- 第1号 令和7年度就学援助申請者数及び認定者数
- 第2号 要綱の制定及び改廃の報告（令和8年1月～令和8年3月）
- 第3号 行政情報の公開請求
- 第4号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和7年10月～令和8年3月）

議案第1号

令和8年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

《提案理由》

日野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱第3条の規定に基づき、令和8年度日野市教育委員会評価委員を委嘱するものです。

## 令和8年度日野市教育委員会評価委員

### 《令和8年度日野市教育委員会評価委員 名簿》

	氏名	住所	備考
1	生島 美和		帝京大学教育学部准教授
2	中澤 正人		明星大学教職担当客員教授

### 《関係法令》

日野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱

第3条 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たり、その客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する者の意見を求めるものとする。

- 2 学識経験者は、学校教育及び生涯学習に関して識見を有する者2名をもって充てる。
- 3 学識経験者は、教育委員会が委嘱する。
- 4 学識経験者には、予算の範囲内で謝礼を支払う。

議案第2号

日野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

《提案理由》

日野市公告式条例の改正に関連し、日野市教育委員会公告式規則の一部を改正するものです。

## 日野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則

日野市教育委員会公告式規則（昭和31年教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

第5条中「日野市役所及び七生支所前の掲示板に掲示してこれを行う」を「日野市公告式条例（昭和33年条例第10号）第2条第2項に規定する方法により措置又は掲示して行うものとする」に改める。

### 付 則

この規則は、令和8年5月1日から施行する。

日野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の新旧対照表

\_\_は、改正部分を示す。

新	旧
<p>第1条～第4条 略</p> <p>第5条 規則等及び教育長規程の公布は、<u>日野市公告式条例</u> <u>(昭和33年条例第10号) 第2条第2項に規定する方法によ</u> <u>り措置又は掲示して行うものとする。</u></p> <p>第6条 以下略</p>	<p>第1条～第4条 略</p> <p>第5条 規則等及び教育長規程の公布は、<u>日野市役所及び七</u> <u>生支所前の掲示板上に掲示してこれを行う</u> _____。</p> <p>第6条 以下略</p>



議案第3号

教育財産の用途廃止及び用途変更について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

《提案理由》

第四幼稚園の閉園に伴い、同園園舎の教育財産としての用途を廃止及び、用地について日野第四小学校用地に用途を変更するものです。

## 第四幼稚園用地等概要

所在地 日野市石田431番地の6

敷地面積 2,122.00 m<sup>2</sup>

建物面積 541.00 m<sup>2</sup>

(参考)



議案第4号

日野市教育委員会いじめ問題対策委員会専門調査員の委嘱について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

《提案理由》

日野市教育委員会いじめ問題対策委員会規則の規定に基づき、日野市教育委員会いじめ問題対策委員会専門調査員を委嘱するものです。

非公開

議案第5号

学校運営協議会委員の任命及び解任等の専決処分について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

《提案理由》

日野市学校運営協議会規則（平成29年教育委員会規則第7号）第8条の規定に基づく委員の任命及び第17条の規定に基づく委員の解任等について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により任命及び解任等を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

## 学校運営協議会委員の任命

(人事異動による任命者変更)

	学校名	氏名	住所	備考
1	日野第一小学校	船山 徹		日野第一小学校校長 (対象学校の校長)
2	豊田小学校	須藤 利伸		豊田小学校副校長 (対象学校の副校長)
3	豊田小学校	金谷 聡士		豊田小学校主幹教諭 (対象学校の教職員)
4	平山小学校	斉藤 郁央		平山小学校校長 (対象学校の校長)
5	日野第八小学校	北里 浩一		日野第八小学校校長 (対象学校の校長)
6	日野第七小学校	佐藤 雅彦		日野第七小学校校長 (対象学校の校長)
7	南平小学校	嘉門 克文		南平小学校主幹教諭 (対象学校の教職員)
8	仲田小学校	樋口 智子		仲田小学校校長 (対象学校の校長)
9	夢が丘小学校	工藤 由美子		夢が丘小学校主幹教諭 (対象学校の教職員)

任命日 令和8年4月1日

任期 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

	学校名	氏名	住所	備考
1	潤徳小学校	石川 誠		潤徳小学校校長 (対象学校の校長)
2	旭が丘小学校	折茂 慎一郎		旭が丘小学校校長 (対象学校の校長)
3	旭が丘小学校	東本 芳美		旭が丘小学校副校長 (対象学校の副校長)
4	旭が丘小学校	山崎 卓也		旭が丘小学校主幹教諭 (対象学校の教職員)
5	東光寺小学校	福田 智司		東光寺小学校副校長 (対象学校の教職員)
6	日野第一中学校	船山 徹		日野第一小学校校長 (関係行政機関の職員)

任命日 令和8年4月1日

任期 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(解任)

	学校名	氏名	住所	備考
1	潤徳小学校	斉藤 郁央		潤徳小学校校長 (対象学校の校長)
2	旭が丘小学校	半田 大樹		旭が丘小学校校長 (対象学校の校長)
3	旭が丘小学校	須藤 利伸		旭が丘小学校副校長 (対象学校の副校長)
4	旭が丘小学校	森平 啓子		旭が丘小学校主幹教諭 (対象学校の教職員)
5	東光寺小学校	岡元 大輔		東光寺小学校副校長 (対象学校の教職員)
6	日野第一中学校	小川 真由美		日野第一小学校校長 (関係行政機関の職員)

解任日 令和8年3月31日

(任命の辞退)

	学校名	氏名	住所	備考
1	日野第一小学校	杉浦 靖俊		同窓会 (地域住民)

《関係法令》

日野市学校運営協議会規則

(委員の任命)

第8条 協議会の委員は、20人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 保護者
- (2) 地域住民
- (3) 対象学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 対象学校の校長、副校長及び教職員
- (5) 学識経験者
- (6) 関係行政機関の職員
- (7) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 教育委員会は、対象学校の校長から申出があったときは、前項の委員の任命について、当該校長から意見を聴取するものとする。

3 委員の辞職等により欠員が生じた場合は、教育委員会は新たな委員を任命する。

4 委員は、地方公務員法(昭和25年法律第261号)第3条第3項に規定する非常勤の特別職の身分を有する。

(任期)

第10条 委員の任期は任命のあった日からその任期開始の日の属する年度の翌年度の末日までとし、

再任を妨げない。

2 第8条第3項の規定により新たに任命された委員の任期は、前任者の残存期間とする。

(委員の解任)

第17条 教育委員会は、本人から辞任の申し出があったときのほか、次の各号のいずれかに該当すると認められたときは、委員を解任することができる。

- (1) 第9条第1項及び第2項に違反したとき。
- (2) 委員が心身の故障のため職務を遂行することができないとき。
- (3) その他、解任に相当する事由が認められるとき。

2 教育委員会は、委員を解任する場合には、その理由を示さなければならない。

議案第6号

第12期日野市立教育センター運営審議会委員の委嘱の専決処分について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

《提案理由》

日野市立教育センター設置条例第9条の規定に基づく委員の委嘱について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため、教育長専決により委嘱を行いましたので、これを報告し承認を求めるものです。

## 第12期日野市立教育センター運営審議会委員

### 《日野市立教育センター運営審議会委員 名簿》

番号	氏名	住所	備考	期
4	石川 星子		日野市立幼稚園長会 (学校教育関係者)	2
5	斉藤 郁央		日野市立小学校長会 (学校教育関係者)	1
6	伴 光明		日野市立中学校長会 (学校教育関係者)	2
7	宇田川 裕美		教育指導担当部長 (教育行政機関関係者)	2
8	飯倉 直子		生涯学習担当部長 (教育行政機関関係者)	2

任期 自 令和 8年 4月 1日  
至 令和10年 3月31日

### 《日野市立教育センター設置条例》

#### (審議会の委員)

第9条 前条に規定する審議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 教育行政機関関係者
- (4) 学識経験者
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

議案第7号

第32期日野市立図書館協議会委員の任命について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

《提案理由》

第31期図書館協議会委員の任期が令和8年4月14日で終了するため、第32期委員を新たに任命するものです。

### 第3 2期日野市立図書館協議会委員

《図書館協議会委員 名簿》

番号	氏名	住所	備考	期
1	山口 洋		中央大学文学部兼任講師 (学識経験者)	4
2	粟澤 稚富美		日野社会教育センター (社会教育関係者)	4
3	高橋 珠州彦		明星大学教育学部准教授 (学識経験者)	新
4	根津 美満子		子ども読書ボランティア 団体代表 (家庭教育関係者)	新
5	菊地 恵子		公募市民	2
6	栗原 佑介		公募市民	新
7	小室 克夫		公募市民	新
8	千葉 智弘		日野市立小学校校長会 (学校教育関係者)	2
9	吉川 泰弘		日野市立中学校校長会 (学校教育関係者)	新

任期 自 令和8年4月15日  
至 令和10年4月14日

《日野市立図書館協議会設置条例》

第1条 図書館法第14条の規定により、日野市立図書館協議会を置く。

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、教育委員会が任命する。

2 委員の定数は、10人以内とし、次に掲げる者で構成する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者 7人以内
- (2) 公募による市民 3人以内

議案第8号

教育委員会職員人事について

上記議案を提出する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

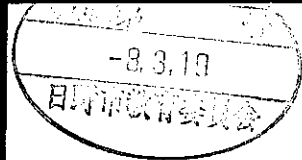
《提案理由》  
教育委員会職員に対して、人事発令を行うものです。

非公開

## 請願審査

請 願 番 号	請願第8-1号
受 付 年 月 日	令和8年3月19日
件 名	「防災・災害派遣」を隠れ蓑に生徒に「軍事力は必要」と教え込む都教委流”自衛隊連携防災講話”は実施せず、また”子ども版防衛白書“は有害図書だと、本市の教職員に周知頂くよう求める等の請願
請願者住所氏名	

「防災・災害派遣」を隠れ蓑に生徒に「軍事力は必要」と教え込む都教委流“自衛隊連携防災講話”は実施せず、また“子ども版防衛白書”は有害図書だと、本市の教職員に周知頂くよう求める等の請願



口頭意見陳述をします。

## 1 請願の背景と、請願を実行頂きたいお願い等

「防災・災害派遣」を隠れ蓑に、生徒に軍事力は必要と教え込む、都教委等と自衛隊の“共犯”性を分析し暴き出した、PDF添付の月刊『紙の爆弾』2026年4月号4頁建ての、教育ジャーナリスト・永野厚男さん執筆記事と、後掲の「2 具体的事実と請願(提言)、分析事項」の各項目を、2026年4月10日(金)午後の本市教委定例会までに、白石高士教育長と4人の教育委員、宇田川裕美さん・前田健太さんを始めとする指導系が読み込んで頂き、〔1〕教育委員全員が、「毎回壊れたICレコーダーのようではない、具体的内容に読み込んだ意見」を述べた上で、本請願を採択頂くとともに、〔2〕本市の全教職員(校長を含む)に、本請願の内容を、下線部を中心に周知等して頂きたい(副)校長会・教務主任会・中堅教諭等資質向上研修・初任研等で紹介して頂きたい。更に、〔3〕月刊『紙の爆弾』26年4月号の記事を、本市の全教職員に周知等して頂きたい。そして〔4〕以下の請願事項に沿った意見書を、都教委と文科省(松本洋平大臣(53歳)と武蔵久慶(ひさよし)教育課程課長にも出して頂きたい。

## 2 具体的事実と請願(提言)、分析事項

**2-1 事実** 都民が東京都教育委員会への情報公開請求で、1月15日得た文書は、文面上は“都教委指導部が防災講話実施”で関係機関に講師派遣の協力を求めているのに、返信してきた自衛隊東京地方協力本部(以下、東京地本)側が“承諾書”にサインした職名は、募集課長になっている!

都教委が都立高校に実施を求めている“防災講話”(宿泊は伴わない)のうち、自衛隊と連携するものは、後述する“宿泊防災訓練”同様、少なくとも文書上は自衛隊員募集目的の疑いが濃い。羊頭狗肉であり、通常人なら驚愕(きょうがく)する。

東日本大震災後、14年度から都教委は、定時制等を除く全都立高校に“宿泊防災訓練”を強制。消防・大学・警察の他、本来は軍事組織である自衛隊をも連携先として募集し、校長に応募させる形で毎年各校ずつ自衛隊を来校させてきた。

自衛隊と連携する“宿泊防災訓練”は、〔1〕都教委主導で生徒を駐屯地等に連れて行き、自衛隊員の号令一下、行進訓練させたり、隊員が行進・敬礼を実演した

りするのに一定の時間をとる(“防災講話”も実施するが、戦闘訓練のスライドを見せ“防衛の任務”もPRする)、〔2〕自衛隊員を講師として学校に招き生徒に“防災講話”を実施——の2パターンがある。

〔1〕は試行段階から数えると、田無工業高校が2回、大島高校が1回実施したが、田無工業の方で“隊内生活体験”“募集広報実務訓練”と明記した文書が出てきたため、当時の保護者は「自衛隊員募集に利用されないか、不安だった」と語っている(詳細は月刊『紙の爆弾』20年12月号)。

コロナ禍以後、“宿泊防災訓練”は強制ではなくなったが、都立高校は数十年前から必須(must)になっている避難訓練(「理科室から出火した」等の火事の他、河川に近い学校で「洪水を想定する」等、地域の実態に応じた訓練)のメニューの1つとして、“防災講話”を実施。多くは校長中心に地域の消防署等に講師依頼をしているが、適切な講師を見付けられない学校もあり、都教委の信岡新吾・高校教育指導課長(当時)は24年1月12日、連携関係機関に自衛隊を消防庁・警視庁と併記し「希望する学校は申込票を提出する」よう求めた。

だが、⑦実施日は第3希望まで書く欄があるが、連携先は選べない。そして信岡氏の上司・小寺康裕指導部長(当時)が同じ1月12日、東京地本部長宛「関係機関と連携した防災講話の協力について」という依頼文を電子メールで出すと、④その日のうちに樋口圭・東京地本募集課長がサインした承諾書を高校教育指導課の組織端末に返信している。

情報公開請求者が2月4日、高校教育指導課の防災教育担当者に電話し、⑦について「実施希望日だけでなく、連携先も選べるようにすべきだ」と質したが、担当者は「学校と連携関係機関のマッチングの枠の中で日程調整しなければいけないので、連携先まで希望通りマッチングさせることは困難だ」と回答。

④については、情報公開請求者が「小寺氏の依頼文は講話内容を、『ビデオ等による震災発災時の状況説明(30分程度)、実際に被災地に派遣された関係機関の職員による体験談(20~30分程度)等』と希望している。百歩譲って自衛隊と連携するにしても、来校者(講師)は広報課長や災害派遣の隊長等が想定されるのではないかと、募集課長の来校は、やはり募集目的なのでは?」と追及。担当者は「相手側(自衛隊)の組織・役割分担・役職の問題なので、自衛隊側に関してももらわない」との回答に留まった。

しかし、自衛隊連携の“宿泊防災訓練”反対行動に取り組んだ都立高校元教諭は「高市早苗首相は25年11月7日の衆院予算委員会で『台湾有事時、存立危機事態(注、自衛隊は“敵国”に対し憲法9条違反の武力行使をする)になりうるケース』と答弁。中国との対立が前面になってきて、自衛隊に入隊した若者は集团的自衛権行使下で最前線に行かされる可能性があり、死の恐怖を思い浮かべ退職者が増えている。陸海空3自衛隊の定数を満たせられないので、自衛隊側は若年層を狙っている」と解き明かした。**提言** 上記の通り、教育委員会や校長主導で“防災(講話・炊き出し)”に関し、“安易”に自衛隊と連携すると、生徒・保護者を始めとする市民の間で賛否分かれる自衛隊の本務である軍事(いわゆる防衛)面の、一方的なPR活動の場(主権者教育は中立であるべきなのに、選挙で政府与党の政策に賛同し投票するようindoctrinationする、保守政党に偏向した教育)になってしまいう危険性が高い。こういう危険性を踏まえ、本市立小中では、“防災”に関し自衛隊

とは一切連携せず、消防や研究機関等と連携すること。また、前掲の都立高校元教諭の至言を市教委・教職員の間で共有すること。

2-2 事実 防衛省は『まるわかり！日本の防衛～はじめての防衛白書』と称する“子ども版防衛白書”を、21年8月14日“防衛省・自衛隊KIDS SITE”に掲載して以降、毎年度改訂し掲載。同省は24年度版を紙媒体の冊子にし6100冊を全国約2400の小学校に送付した。

24年版は冒頭の「1 なぜ自衛隊は必要なの？」で、いきなり「戦争が起きないようにするための『抑止力』が大切です。戦争を防ぐためには、自分たちの国を守りぬく意思と能力があることを周りに示し、日本から何かを奪うのは難しいと他の国に思わせることが必要です。さらに、それでも他の国に攻め込まれるような場合には、確実に守り切ることができるようにしておくことが必要なのです」と、外交・対話でなく軍事力絶対視の主張。

続けて、「ロシアが力で一方的にウクライナを侵略した行為」を「決して許されるものではありません」としつつも、「こんなことが起きてしまった理由の一つに、ウクライナのロシアに対する防衛力が足りなかったことがあります。つまり、ウクライナは、『国を守るために十分な力を持っておらず、攻め込んでも大丈夫』とロシアから思われたため、ロシアに侵略を思いとどまらせることができなかったのです」とウクライナ非難も展開し、自衛隊の軍拡“正当化”に利用。マスコミ等から批判が出た。

このため25年7月15日発行の最新版は全34頁中、目次の前に計5頁を割き、「被災者の捜索・救助や生活支援などを行い、国民の命を守ります」などと、カラー写真満載で自衛隊の災害派遣を大宣伝した。

そして次の通り、自衛隊に“親しみ”を持たせるソフトな話題に続ける。

① 自衛官の胸にレンジャー徽章(きしょう)のバッジをつけるには…厳しい環境で行われるレンジャー教育課程を修了する必要がある。

② 肉をたっぷり盛ったカラー写真等載せ「陸海空の名物メニュー紹介。その基地ならではのオリジナル料理がたくさんあります」「自衛官は平均的な大人よりも多い、なんと一日3000kcal(男女とも)を摂取。厳しい訓練や任務を行うのに必要な栄養を確保するため」。

提言 (1)本市立小中では、“子ども版防衛白書”の紙ベースのものを防衛省から送付してきたことはないか？ もしあったら、「どの学校に何冊」か？ また“防衛省・自衛隊KIDS SITE”に掲載の“子ども版防衛白書”を含め、「授業での使用したことがあれば、使用時期と学校名・学年・組、その内容」は？ 以上、明らかにして頂きたい。

(2)紙ベース・ウェブ問わず、万一使用してしまった小中があれば、本会とも相談の上、誤ったindoctrinationを回復する措置を執って頂きたい。

(3)紙ベース・ウェブ問わず、万一使用してしまった小中があれば、前記「事実」のうち、次のような“子ども版防衛白書”が隠蔽している事実を小中学生に伝えてほしい。→ ①のレンジャー訓練は雪の中の“行軍”等の写真を載せているが、蛇を食べさせられる等、生理的にも気持ちの悪い事実は隠している。

②はワーキングプアで給食が唯一の栄養源のご時世、“衣食住無料”で釣ろうとするが、隊内でのいじめ・パワハラ・性暴力の多発には一切言及なし。

2-3 事実 「2-2」のような(偽善的だが)“ソフト”な話題の後、一部の児童に“人気”のブルーインパルスが大宣伝し、その後の頁は全て軍拡一辺

倒になる。

4頁費やし「自衛隊の装備品について詳しくなろう」と題し、「どうして色々な装備品が必要なの？→自衛隊は様々な状況に応じてたくさんの任務を行っています。任務を行うためには、車両、船、飛行機といった装備品が必要となるため、これらの装備品を計画的に購入しています」。24式装輪装甲戦闘車・護衛艦・F15戦闘機、さらには武器禁輸3原則に違反し、日本を死の商人に貶(おとし)める「英・伊と共同開発する次期戦闘機」等“装備品”の写真を載せるが、「武器・殺傷兵器」という語は用いない。

続けて計4頁を割き、「自衛隊の活動や任務について詳しくなろう」と称し、「日本が位置する地域は安全とはいえません。日本の周りには、核兵器を含む大規模な軍事力を持ち、日本とは政治・経済に関する価値観を共有しない国家や地域が複数あります」と記述。北朝鮮・ロシア・中国の軍拡を強調し、自衛隊の「統合防空ミサイル防衛」の“正当化”を企(たくら)む。

「パシフィック・ヴァンガード24に参加する護衛艦・ありあけの写真(2024年9月)」を載せ、「日本の平和を維持するためには、自分たちが強くなるだけでなく、日本周辺の安全保障環境の安定化が不可欠です。そのため、自衛隊は、広くインド太平洋地域において共同訓練を積極的に推進しています」と主張。

極め付けは「日本とアメリカが結んでいる日米安全保障条約という約束では、日本が攻撃された場合には、日本とアメリカと一緒に立ち向かうことが決められています。この約束によって、もしどこかの国が日本に対して攻撃しようと考えている場合、その国は世界一の軍事力を持つアメリカ軍と直接対決することを覚悟しなければなりません」と記述。軍事力を絶対視する一方、沖縄始め日本国内に基地があることにより、米軍人による性暴力事件や軍用機墜落事故等が多発している事実を覆い隠している。

なお「海自の艦艇に着艦するアメリカ海兵隊戦闘機」の写真も載せているが、24年度版まであった「専守防衛」という語が消えたのは、護衛艦(かが・いずも)を空母化したこの写真と連動しているのか？ 同年度版まであった国是の「非核三原則」を載せなかった事案と共に、危惧される。

提言 高校の公共・政治経済の教科書の中には自衛隊の「武器・殺傷兵器」を“防衛装備品”という一見ソフトな語に言い換えている出版社が少なからずある。“子ども版防衛白書”は「自衛隊の装備品について詳しくなろう」と称し、「必要だ」と思い込む児童生徒を大量生産し、集団的自衛権下の戦争に進んで行かせようと企んでいる。だが、このような「武器・殺傷兵器」の知識なんていうものは、「日本は持つ必要はない」と考え「大幅に減らしなくす、軍縮推進」以外の意味で不要だ。むしろ国連等を中心とする軍縮の枠組みや条約作り等、外交努力に興味・関心を抱く児童・生徒を育ててほしい。そうすれば将来、武器禁輸3原則を復活する道も開ける。

2-4 事実と提言 岸田文雄政権が22年12月、国会審議なきまま閣議決定した、大軍拡の“安保3文書”は「我が国…を愛する心を養う」「安全保障教育の推進」等を明記(高市内閣はさらなる改訂を企む)。

都教委タカ派官僚らは保守系の都教育委員や都議会議員と癒着し、2003年10月10・23通達を发出。公立の小中高校・特別支援学校等の卒業・入学式の“君が代”起立・ピアノ伴奏強制を強化する“愛国心教育”を徹底させた。ミリタリズムの社会にさせないためにもナショナリズムを排除し、憲法第13条の「個人の尊重」をしっかりと学ばせるべきだ。



報告事項第1号

令和7年度就学援助申請者数及び認定者数

このことについて、次のとおり報告する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

令和7年度 就学援助申請者数及び認定者数

令和7年度申請分

(単位:人)

	申請者計			要保護・準要保護認定						否認定		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
4月～5月	792	491	1,283	57	36	93	663	412	1,075	72	43	115
6月	22	12	34	-1	0	-1	23	12	35	0	0	0
7月	13	13	26	2	2	4	7	9	16	4	2	6
8月	4	1	5	1	0	1	2	1	3	1	0	1
9月	1	3	4	0	0	0	1	3	4	0	0	0
10月	3	5	8	3	2	5	-1	3	2	1	0	1
11月	1	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0
12月	4	0	4	1	0	1	3	0	3	0	0	0
1月	4	2	6	0	0	0	4	2	6	0	0	0
2月	1	3	4	-1	1	0	2	2	4	0	0	0
3月	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
合計	846	531	1,377	63	42	105	705	444	1,149	78	45	123

※マイナス表記されているものは、生活保護改廃により、要保護⇔準要保護に認定区分が転じたもの。

参考(過年度データ:各年度末時点)

	申請者計			要保護・準要保護認定						否認定		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
令和 6年度	941	567	1,508	67	35	102	793	489	1,282	81	43	124
令和 5年度	983	620	1,603	78	40	118	824	533	1,357	83	45	128
令和 4年度	1,026	583	1,609	67	41	108	871	507	1,378	88	35	123
令和 3年度	1,082	645	1,727	64	44	108	946	558	1,504	72	43	115
令和 2年度	1,040	607	1,647	64	40	104	884	514	1,398	92	53	145
令和 元年度	1,043	636	1,679	63	48	111	896	542	1,438	84	46	130
平成30年度	1,054	670	1,724	56	46	102	917	577	1,494	81	47	128
平成29年度	1,085	748	1,833	55	49	104	950	645	1,595	80	54	134
平成28年度	1,124	763	1,887	60	47	107	985	665	1,650	79	51	130

報告事項第2号

要綱の制定及び改廃の報告（令和8年1月～令和8年3月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

要綱制定改廃一覧

(～令和8年3月31日制定・改廃分)

NO	要綱の名称	適用日	制定・改廃の理由
1	日野市学校給食（食材）費補助金交付要綱の一部を改正する要綱	令和7年10月27日	物価高騰による影響等を軽減するため、令和7年10月より臨時的な食材費補助を実施したが、令和7年度新米への切り替えに伴い、米価の更なる値上がりに対応するため、追加の食材費補助を実施するもの
2	日野市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する要綱	令和8年4月1日	経済的理由により就学が困難と認められる学齢児童・生徒の保護者に対し支給する、要保護および準要保護児童生徒援助費の支給費目および支給単価の改定に伴い、要綱の一部を改正するもの
3	日野市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱	令和8年4月1日	経済的負担の軽減が必要な特別支援学級に在籍する（通級含む）学齢児童・生徒の保護者に対し支給する、特別支援教育就学奨励費の支給対象者および支給費目の改定に伴い、要綱の一部を改正するもの

報告事項第3号

行政情報の公開請求

このことについて、次のとおり報告する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

行政情報の公開請求

	請求日	決定日	請求件名	決定内容
1	3月17日	3月30日	東京都教育委員会が毎年調査している「公立小中学校事務共同実施支援事業」の R6・7 年度の『意向調査』の開示と同事業の都からの「補助金」を申請していれば、その申請書を開示していただきたい。	全部公開 および 不存在
2	3月19日	3月31日	「学校と家庭・地域のより良好な関係づくり」に関し 2026 年 2 月 2 日以降、都教委と日野市教委と市立小中との間でやりとりした文書一式	全部公開

報告事項第4号

日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和7年10月～令和8年3月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和8年4月10日 提出

日野市教育委員会  
教育長 白石 高士

令和7年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

No.	実施団体名	事業名	目的・内容	実施場所	実施日(開始～終了)		共催・後援	承認日
1	株式会社中広	お仕事ノート日野・多摩・稲城市2026年度版	地域の産業、企業を紹介する冊子を制作することで、小学生自らが生活する地域を知りながら、未来を描くキャリア教育をアシストする	日野市、稲城市、多摩市内の小学校・義務教育学校	令和7年12月1日	令和8年11月30日	後援	令和7年10月6日
2	どうぶつ愛護活動隊Kyueen	「小さな命の写真展IN日野2025年秋」&「保護わん保護にゃん写真展」	動物愛護精神の普及啓発活動を通じ、人と動物が共生する社会を実現する。	とよだ市民ギャラリー	令和7年11月19日	令和7年11月23日	後援	令和7年10月6日
3	一般社団法人 AILES	子どもアートワークショップ「葉っぱ神経衰弱×水彩画」	子どもへの自然科学と美術の体験	カワセミハウス	令和7年11月24日	令和7年11月24日	後援	令和7年10月6日
4	一般社団法人 国際そろばん連盟	第4回全国88くん選抜珠算競技大会	そろばん大会は、児童生徒の学力向上に貢献するだけでなく、集中力や自己肯定感を養い、論理的思考力や問題解決能力を育むことで、将来の科学技術を担う人材育成に寄与する。	イオンモール多摩平の森 3F イオンホール	令和7年11月30日	令和7年11月30日	後援	令和7年10月22日
5	マネー・ラボラトリーなぎさ校	おこづかいを活用しこどもにお金の勉強をさせよう	おこづかいの渡し方から子供の金銭教育の教え方を通じて、子供たちが社会に出ても「行き抜く力のある子」に育ててもらふこと、義務教育を受けている子供たちの保護者への家庭内で行える金融教育方法を教示する。	ひの煉瓦ホールほか	令和7年12月6日	令和7年12月11日	後援	令和7年10月22日
6	Youth Freestyle Football 振興会	日本フリースタイルフットボール学生選手権2025	フリースタイルフットボールという競技の普及と発展、人材発掘。フリースタイルフットボールに触れる機会により、スポーツ文化の振興を図る。	イオンモール多摩平 センターコート1階	令和8年1月10日	令和8年1月10日	後援	令和7年10月22日
7	公益財団法人日本バスケットボール協会	2025年度 第6回全国U15バスケットボール選手権大会	バスケットボール競技普及及び地域スポーツ振興のため	京王アリーナTOKYO メインアリーナ・サブアリーナ	令和8年1月4日	令和8年1月8日	後援	令和7年10月22日
8	特定非営利活動法人子どもへのまなざし	柴田愛子さん講演会	子育てに対する不安や孤立感を解消し、「子どもの育ちに関わるおとなの役割」を考える機会を持つ	仲田の森蚕糸公園、市民の森ふれあいホール	令和7年12月6日	令和7年12月6日	後援	令和7年10月28日
9	Kidsプログラミングラボ	プログラミング無料体験会	プログラミング教育の必修化に伴い、プログラミング教育の普及及び、地域貢献を目的として実施する。	高幡不動ビル4階(日野市高幡) パークビル8階(日野市多摩平)	令和7年11月29日	令和7年12月13日	後援	令和7年10月31日
10	日野市民会館(指定管理者:株式会社ケイミックスパブリックビジネス)	「おかあさんといっしょ」ファンターネ!とあそぼ	未就学児へ良質な作品を届けるとともに音楽にふれてもらう。	日野市民会館 大ホール	令和8年3月20日	令和8年3月20日	後援	令和7年10月31日
11	全国小学校道徳教育研究会	令和7年度 全国小学校道徳教育研究会 第48回研究発表大会	全国各地の道徳科に関する優れた研究実践の報告や情報交換等を通して、参会者の識見を高めるとともに、全国各地の小学校における道徳教育の一層の充実・発展に寄与する。	日野第一小学校	令和8年2月13日	令和8年2月13日	後援	令和7年10月31日
12	みらいの学びフェスティバル製作委員会	ワークショップコレクション ゲームプログラミング・おしごと編	小学生と保護者がプログラミング教育や金融教育及びキャリア教育について正しく理解し、楽しく体験することができるリアルイベント	LINK FOREST 研修室A(多摩市鶴巻3-5-3)	令和7年12月27日	令和7年12月27日	後援	令和7年11月10日
13	ヘルス・ハーモニー合同会社	音楽と物語の世界	絵本の朗読と共にクラシックの生演奏のコンサートに触れる	新町交流センター	令和7年11月7日	令和7年12月27日	後援	令和7年11月10日
14	公益社団法人 日野法人会	公益社団法人 日野法人会長杯争奪 日野市少年サッカー大会を兼ねた税金教室	地域社会への貢献等、社会の健全な発展に資する事業として、将来を担う小学生を対象とした租税教育を支援、実施する。	浅川グラウンド	令和7年11月16日	令和7年12月20日	後援	令和7年11月10日
15	東京都薬物乱用防止推進日野地区協議会	令和7年度薬物乱用防止ポスター・標語展示会	市立中学生が作成した薬物乱用防止に関するポスター・標語の掲示	ひの社会教育センター ロビー	令和7年12月3日	令和7年12月23日	後援	令和7年11月17日
16	社会福祉法人東京光の家	第29回手さぐりの作品展「光の家万博」	盲重複障害者と知的障害者が制作した作品鑑賞を通じ、障害の理解につなげる	イオンモール多摩平の森 3階 イオンホールA	令和8年3月6日	令和8年3月8日	後援	令和7年12月4日

令和7年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

17	NPO法人エンジョイキッズ	Minecraft で1日eスポーツ体験教室	創造力の育成、デジタルスキルの向上、コミュニケーション力の強化、地域との連携	ぼかぼかステップランド(日野市多摩平1-4-14)	令和8年1月10日	令和8年1月10日	後援	令和7年12月4日
18	一般社団法人 AILES	子どもアートワークショップ「ステンシルでトートバックをデザインしよう!」「キク科の花、ガーベラを描こう!」	子どもへの自然科学と美術の体験	カワセミハウス	令和8年1月31日	令和8年3月22日	後援	令和7年12月4日
19	美地企画(平和を語り継ぐコンサート(の会))	美地平和を語り継ぐコンサートPart27	平和について考える機会を広げる	七生公会堂	令和8年1月31日	令和8年1月31日	後援	令和8年1月15日
20	一般財団法人 言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ	多言語で世界につながろう!プロジェクト	多言語の自然取得と国際交流・相互理解について共に考える	市民の森ふれあいホール 東部会館 南平体育館 万願寺交流センター	令和8年2月18日	令和8年12月28日	後援	令和8年1月15日
21	一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ	Wリーグプレーオフ2025-26ファイナル	バスケットボール競技普及及び地域スポーツ振興のため	京王アリーナTOKYO メインアリーナ	令和8年4月4日	令和8年4月13日	後援	令和8年1月15日
22	一般社団法人全国エドテック普及協会	マイクラフトを使った小学生向けのプログラミング的思考を育む親子体験事業	日野市内の子どもたち及び保護者を対象に、無料のプログラミング体験会を通し、論理的思考力や問題解決力、主体的に考え行動する姿勢を育成する	ハロー!パソコン教室イオンモール多摩平の森校	令和8年2月11日	令和8年3月20日	後援	令和8年1月15日
23	日野市サッカー連盟	第25回日野市長杯争奪中学校サッカー大会	日野市内の中学校サッカー部が一同に介し、サッカー競技を通じてスポーツの振興、心身の健全な発達及び親交を図る	日野市民の森 陸上競技場	令和8年2月1日	令和8年2月28日	後援	令和8年1月16日
24	特定非営利活動法人(NPO法人)金銭教育研究会	大人のためのお金の学校	家庭教育の柱となっていく金銭教育の知識伝達を目的とする	日野市多摩平の森産業連携センター(PlanT)	令和8年2月21日	令和8年2月25日	後援	令和8年1月20日
25	一般財団法人日本リーダー育成推進協会	子どもの潜在能力を引き出す脳科学講座	最新の心理学や脳のしくみに関する知見をもとに、保護者が子どもの自己肯定感を育み、前向きな学びや成長を支えるための関わり方について学ぶことで、保護者が安心して子育てに向き合うための一助となることを目的とする。	オンライン講座	令和8年6月3日	令和8年6月7日	後援	令和8年1月28日
26	いきいき・ふれあい塾	日野市モーニング・フォーラム	市民のために開かれた生涯学習の場	日野市商工会館 3階ホール	令和8年2月15日	令和8年12月20日	後援	令和8年1月28日
27	みらいの学びフェスティバル製作委員会	ワークショップコレクション ゲームプログラミング・おしごと編	小学生と保護者がプログラミング教育や金融教育及びキャリア教育について正しく理解し、楽しく体験することができるリアルイベント	パルテノン多摩 会議室(多摩市落川2-35)	令和8年4月4日	令和8年4月4日	後援	令和8年2月17日
28	東京キッズマネースクール nextinnovation校	おみせやさんごっこ(対象4歳～12歳)	日野市在住の児童及び保護者への金銭教育	日野市商工会館 3階会議室	令和8年4月5日	令和8年4月5日	後援	令和8年2月26日
29	公益財団法人社会教育協会	第7回リーダーズフォーラム(合同研究発表会)	地域でつながりのある学生・若者が携わる卒業研究等の研究活動を報告し合い、地域住民や社会教育関係者を交えた学び合いの場とする。	日野社会教育センター301・302研修室	令和8年3月20日	令和8年3月20日	後援	令和8年2月26日
30	NPO法人 じぶん未来クラブ	HEART Global ミュージック・アウトリーチツアー2026夏in立川	主に小中高生を対象に、アメリカの音楽教育の非営利団体を招いて表現芸術教育を行う事で、コミュニケーション力、表現力、自己肯定感の育成に寄与する。	たましんRISURUホール(立川市民会館)	令和8年7月31日	令和8年8月2日	後援	令和8年3月5日
31	八王子市ボウリング連盟	第35回 初心者向け 健康ボウリング教室	ボウリングの普及と地域の皆様の健康促進を図ること	SAP日野ボウル	令和8年5月18日	令和8年6月26日	後援	令和8年3月5日
32	公益社団法人スコレ家庭教育振興協会 武蔵野地区実行委員会	子どものやる気にスイッチオン!～自己肯定感を正しく知ろう～	子育てに大切な原理原則をお伝えし、幸せなご家庭が増えること	リオンホール(国分寺市)	令和8年5月19日	令和8年5月19日	後援	令和8年3月5日

令和7年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

33	一輪車クラブひの	一輪車ファンタジー Part7	子供達の練習成果を発表する。一輪車演技の魅力や素晴らしさを舞台発表を通して多くの方に伝える	ひの煉瓦ホール(大ホール)	令和8年5月10日	令和8年5月10日	後援	令和8年3月10日
34	劇団「ひの」	児童劇「ブンナよ、木からおいてこい」	演劇の上演により児童の文化的向上を図る	七生公会堂	令和8年6月27日	令和8年6月28日	後援	令和8年3月10日
35	公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2026～	地域の文化資源を活用して、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信する。また、新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成し、地域の伝統文化・芸能を次世代へ継承する。	八王子駅北口 西放射線ユーロードほか	令和8年5月30日	令和8年5月31日	後援	令和8年3月16日
36	特定非営利活動法人 日野子ども劇場	人形劇 三びきのやぎのがらがらどん 人形劇団ブーク	生の舞台鑑賞	七生公会堂	令和8年7月26日	令和8年7月26日	後援	令和8年3月16日
37	一般社団法人日野青年会議所	第11回 わんぱく相撲 日野場所	青少年の健全育成	イオンモール多摩平の森 3階イオンホール	令和8年5月24日	令和8年5月24日	後援	令和8年3月16日
38	八王子子どもミュージカル	八王子子どもミュージカル 第21回公演「夜空の虹」	ミュージカルの素晴らしさ、舞台芸術の魅力を幅広い年齢層の方に親しんでもらう。	八王子市芸術文化会館 いちようホール 大ホール	令和8年8月30日	令和8年8月30日	後援	令和8年3月18日
39	NPO法人エンジョイキッズ	Minecraft で 1 日 e スポーツ体験教室	創造力の育成、デジタルスキルの向上、コミュニケーション力の強化、地域との連携	ぽかぽかステップランド(日野市多摩平)ほか	令和8年4月10日	令和8年4月24日	後援	令和8年3月18日
40	一般社団法人 AILES	オシャレ封筒をデザインしよう!	子どもへの手紙文化の啓蒙と美術体験を提供する	カワセミハウス	令和8年5月4日	令和8年5月4日	後援	令和8年3月23日
41	一般社団法人 AILES	藍染に挑戦! 手ぬぐいとトートバッグを染めよう!	子どもへ、伝統文化とデザイン体験を提供する	カワセミハウス	令和8年6月28日	令和8年6月28日	後援	令和8年3月23日

承認件数

月	令和7年度	※参考:令和6年度
10月承認	11件	8件
11月承認	4件	6件
12月承認	3件	7件
1月承認	8件	2件
2月承認	3件	3件
3月承認	12件	16件
合計	41件	42件

分類	令和7年度	※参考:令和6年度
1 スポーツ	10件	9件
2 音楽・美術	8件	8件
3 講演会	8件	15件
4 イベント	14件	9件
5 その他	1件	1件
合計	41件	42件